

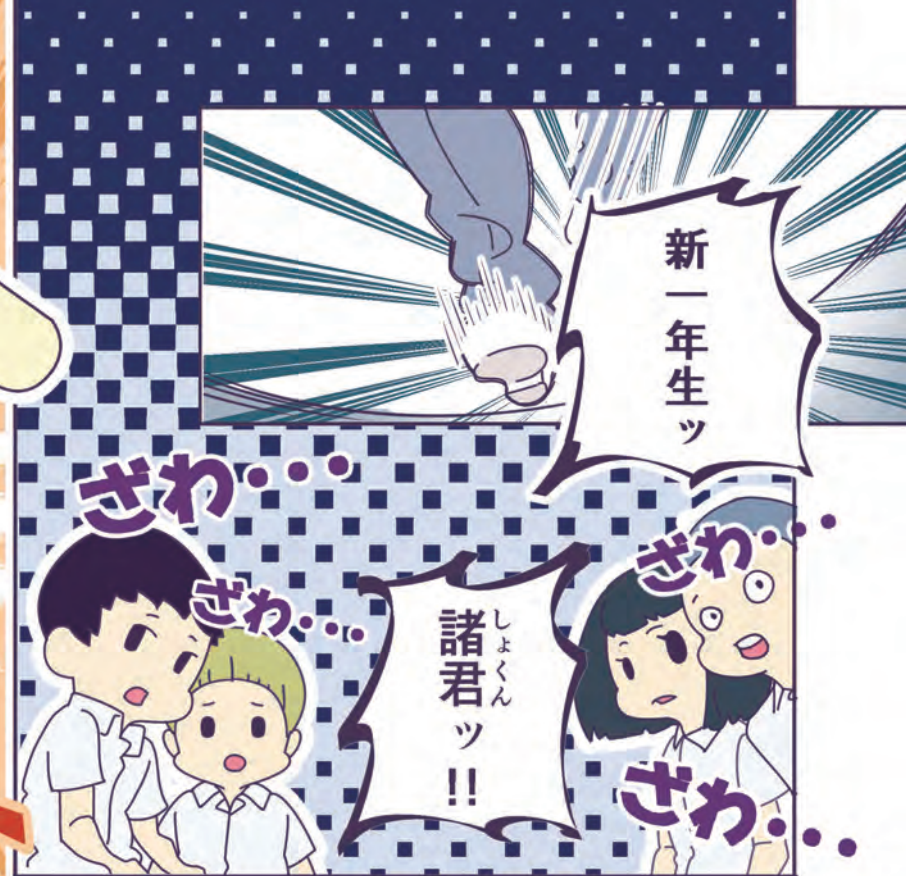
日光市の未来に向けて私たちができること

～人口減少問題について考えよう～





野球部に入り
ませんかーっ!!



新一年生ッ

ざわ...

諸君ッ!!

ざわ...



野球部顧問

野球部
マネージャー

部員集めは
順調かー?

新入部員は
集まりそう...



皆入ろう!
男女問わず
大歓迎だよ!!

一緒に
白球を
追いか
けよう!!



入部者0!!

野球部
キャプテン

ってうわ!!
何何っ
大丈夫!?

うえんうえん
うあうえん
(全然ダメー)



ねえ
野球部
入らない!?

ハッハ
つかま
え
たーっ!!



ひいっ
呪文!?

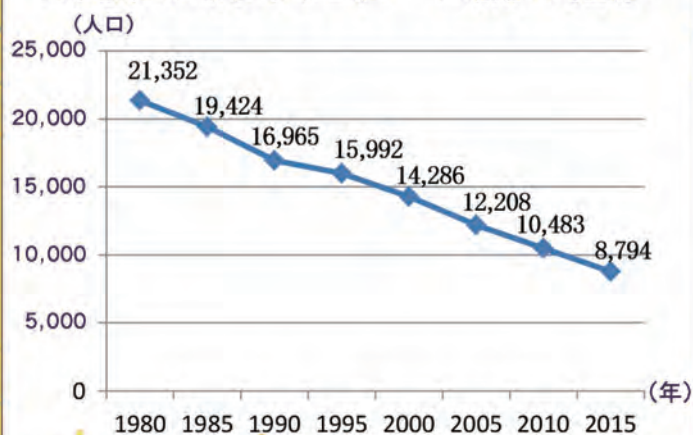
ハッ...

ハッ...

先生が中学生だった頃に
比べると今は子どもの数が
約半分になってしまってるんだ…



日光市の年少人口(0~14歳)の推移



え〜っ!!?

コイツ野球以外は
本当からつきしだな…

一人9役やって
野球の楽しさと俺の
熱い気持ちを同時に
知ってもらおうと
思っただけだ…

しょうほん…

あっ…そう…

さらに！

市役所の推計では
この状態が
続いてしまうと

2060年には
子どもの数が
今の4分の1に
なってしまふんだ!!

そんなッ！
それじゃあ!!
野球部どころか
学校そのものが
廃校になって
しまふんじゃ!!

どうすんのよ…
これじゃあ
ウチの野球部
廃部だよ？

ええ!?
廃部っ!!

あわわわわわ…

うん…

今は子どもの
数が昔より
少ないからなあ…

でも…
どうしてそんなに
子どもの数が減って
しまったのかしら？

いい質問だ！
いろいろと原因は
考えられるが…
まず一番の理由は

出生率の
低さだな！
産まれてくる
子どもの数が
少ないんだ！

それから日光市は
転出超過数が
県内で最も多い！！
特に子育て世代の
転出超過数が
多いから
子どもの数が
さらに減って
しまっている！

ふむふむ。

先生！
さっきから言ってる
転出超過数って
何なん？

あ？ なんだ
そんなことも知らん
のか？しょうがない
やつだな全く…
あゝそれはだなあ…
えーと…

日光市に
移り住んでくる
人より市外に
引越してしまっ
た人の方が多いっ
てことよ

そうそう！それ！
ナイスフォロー！
マネージャー！
ナイス！

そういえば
この前、私の
おじいちゃんが
新聞読んで日光市の人口が

この5年間で6,000人も
減っているって知って
ビックリしていたわ

ええ！
6,000人!?

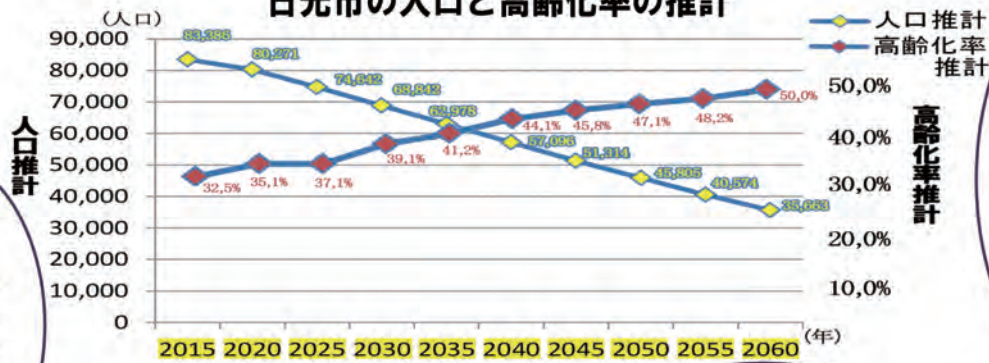
マジで!!
そりゃあ誰だって
ビックリだわ!!

ああ
そうなんだ

また始まりました

日光市の
人口減少の状況は
かつてないほど
深刻だ

日光市の人口と高齢化率の推計



このままだと2060年には人口が人にまで減ってしまうという推計までされていて

そうなるという問題がでてきそうね...

ひいっ！
よくわかんないけど
なんかヤバそう！

さらに高齢化も進んで二人に一人が65歳以上になっていくかも知れないんだ！

その通り！
住む人が減ると

買い物できるお店が減り今よりも生活が不便になる

するとまた住む人が減ってしまう

お店が減ると
ということは
それだけ働く
場所も減る

すると市外に働く場所を求めてさらに住む人が減ってしまう

何という悪循環！
一度この流れにはまってしまうとなかなか抜け出せない！

まさに
ありじごく
蟻地獄！！

やっ！
ッ！！

わかるか
キャプテン！
これは
すなわち！！

野球でいうところの9回裏の守り！！

ノーアウト満塁の
ぜったいぜつめい
絶体絶命の
大ピンチっ！！

まさに崖っぷちなのだ！！



おおっ

だがしかし!

市民一人ひとりが危機感をもって自分ができることから取り組んでいけばこの減少率をゆるやかにしていくことは可能だ!

日光市の人口の推移と長期的な見通し



日光市では「まち・ひと・しごと創生総合戦略」という計画を立てて

2060年時点で人口50,000人を維持できるようなと進んでいるんだ









2008年(平成20年)をピークに、今後、日本の人口は、加速度的に減少していくことが予測されています。

人口減少は消費の低下を招き、日本の経済社会に対して大きな影響を与えることが心配されています。

そこで、国では、2060年に1億人程度の人口を確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目指し、「まち・ひと・しごと創生」(=「地方創生」)に関する取り組みを2014年(平成26年)12月に開始しました。

日光市では、人口減少を早くから課題としてとらえ、積極的な対策を実施してきたところですが、東京圏への一極集中などによる全国的な流れの中、解決には至っていない状況にあります。

そこで、まち・ひと・しごと創生に取り組むため、指針となる「日光市人口ビジョン」と、目標や基本的方向、具体的な施策をまとめた「日光市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を2015年(平成27年)に策定しました。

日光市を将来的に持続可能なまちとしていくためには、長期的な取り組みが必要であり、その実現のためには、行政の取り組みだけでなく、特に若い世代の方々に日光市の現状を「自分事」としてとらえ、自ら考えて行動していただくことが特に重要であると考えます。

以上のことから、市では、日光市の現状を知っていただき、日光市の将来を考えるきっかけとなるよう、中学生にもわかりやすい本リーフレットを作成いたしました。

ご一読いただき、日光市の将来について考え、ちょっとしたことからでも自分にできることを実践していただくきっかけとなれば幸いです。



2017年(平成29年)12月発行

発行：日光市総合政策部地方創生推進課

〒321-1292 日光市今市本町1番地

TEL 0288-25-5322

FAX 0288-21-5109

製作協力：文星芸術大学マンガ専攻

マンガ 後藤 正晃(3年)

構成 田中 誠一(教授)



この冊子は自然環境保護のため、再生紙と植物性大豆油インキを使用しています。